

2024年1月15日

各位
会社名 タマホーム株式会社
住所 東京都港区高輪三丁目22番9号
代表者名 代表取締役社長 玉木 伸弥
(コード番号: 1419)
問い合わせ先 取締役管理本部長 小島 俊哉
TEL. 03-6408-1200

**2024年5月期第2四半期 決算説明会（テレフォンカンファレンス）に関する
質疑応答概要の公開について**

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。

はじめに、令和6年能登半島地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

当社は本日、2024年5月期第2四半期 決算説明会をテレフォンカンファレンス形式により開催致しました。ご出席頂きました皆様から同決算に関するご質問を賜り、以下ご回答を行っておりますのでお知らせ致します。

【質疑応答要旨】

Q1.

第4四半期に偏重との事ですが、第4四半期の具体的な引渡棟数や利益率が上昇する可能性はあるのか教えてください。

また、第4四半期偏重の背景について教えてください。

A1.

第4四半期につきましては、当初の計画通りに進捗しております。

利益率につきましては、若干上振れておりますが、毎月原価の交渉等を行い、それに合わせた販売価格に随時変更しております。

また、第4四半期偏重の背景につきましては、前期末の受注残が少なかった事により、第1四半期から第2四半期の引渡棟数が減少した事が要因となっております。

こちらについては当初計画時よりわかっておりましたので、第4四半期の計画に向けては予定通りでございます。

Q2.

第1四半期決算説明会の際に、子育てエコホーム支援事業について積極的に活用していきたいとご説明頂きましたが、足元の活用状況や住宅取得者に対する利用者の割合について教えてください。

A2.

国の支援策につきまして、当社商品は基準に対応しており、長期優良住宅の基準もしっかりと確保しながら多くのお客様にご利用頂いております。

引渡のうち、約8割のお客様が長期優良住宅の認定申請を行っており、対象となっております。

Q3.

第4四半期に偏重した要因として、工期による影響はございますでしょうか。
木造住宅なので2024年問題はそこまで影響はないと思いますが、それにより遅れる懸念はないのでしょうか。

A3.

2024年問題等の報道がございますが、当社においては、工期に関する影響はございません。

Q4.

第2四半期でオフィス区分の販売が少なかったという事ですが、仕入のペースや在庫の状況はどのようになっていますでしょうか。

金利が上がってきており、不動産市場は慎重に見ているところもありますが、販売の状況に変化はございますでしょうか。

A4.

当社におきましては、東京主要5区での仕入れは順調にできており、在庫状況におきましても、予定通りの販売戸数で推移しておりまして、販売の状況に変化はございません。

Q5.

第4四半期偏重の傾向について、10月と11月の受注が好調だった為、その辺りの受注が5月末までに出てくると思われるが、12月受注分まで入れる事なく、無理せず順調に達成できるペースなのかどうか教えてください。

また、第2四半期末の受注残の状況についても教えてください。

A5.

12月にご契約頂きましたお客様は、着工準備が整えば随時着工してまいります。

また、第2四半期末の受注残は、おかげ様で10月、11月にて前期を上回る多くのお客様にご契約を頂きましたので、例年通りの推移となっております。

Q6.

ギフトカード2万円の来場特典を10月から行っていると思いますが、来場者数や成約率等への効果について教えてください。

A6.

来場者数は前年対比150%と増加しており、受注は例年と比べて10~15%増となっております。

2万円の来場特典により、10月、11月の受注が好調であった為、業績予想は据え置きとしております。

以 上